

令和7年7月28日

運営推進会議 議事録

事業所名称…メディカルホーム絆

会議開催日…令和7年7月28日

開催場所…メディカルホーム絆 多目的室

出席者

事業所	3人	利用者	
利用者家族	1人	地域代表者	3人
萩市職員	1人	その他	
知見を有する者	2人		

議事

運営状況について

1 小規模多機能利用状況報告

小規模多機能居宅介護登録者 23名（男性3名、女性20名）

自宅からの通所利用者 3名（1名入院中）

サービス付き高齢者向け住宅からの利用者 20名（男性3名、女性17名）

平均介護度 前回2.5 今回 2.4

年齢別 男・女 前回90歳 今回 89.5歳

利用者出身地 奈古 4名 宇田木与 4名 須佐 1名 益田1名 萩内 6名
大井 7名

2 事故報告（令和7年1月26日～令和7年3月19日）

転倒 2件 座り込み 1件 誤薬 1件

*事故、ヒヤリハット内容説明

3 その他

絆便りの説明

8月行事予定

4 意見交換(質疑応答、感想、要望等)

知見を有する方より…地域のお店に買い物をした際に、横断歩道をきちんと渡って買い物に行かれていますので安全を考えられている事、歩くこともリハビリになる。天気がいいので体調には気を付けて欲しい。

地域の方 A より…今回も誤薬があった。今回も何もなくてよかった。

回答 発生した際は、直ちに医師に報告している。職員にも誤薬が無いように指導をする。

地域の方 B より…誤薬に関しては、怖いことです。介護職の手が足りてないのかもしれないが気を付けなければならない。

地域の方 C より…今回は夜間帯の事故はなかったが、誤薬が問題だ。

利用者家族の方…初めて利用者の部屋に入ったが、彼女は部屋を片付けられない。必要な物がたくさんあった。要らないものがあれば持って帰ると声を掛けたが拒否された。

萩市職員より…絆便りを拝見し、お買い物についてはごく当たり前のことですが、利用者様にとってはとてもいいことです。普段屋内にいる利用者様にとっては横断歩道を渡るとは交通ルールを学ぶことにもつながる。体調を考えて実施して欲しい。

ヒアリハットについての誤薬についてその後の、体調はどうでしたか？
転倒に関しては、高齢者は防げないため、事故がおこった後の対応が大事です。

小規模の申込は女性が多いのですか？

現在、面会はどうなっていますか？

待機者はいますか？

回答 誤薬が分かった時点で、看護師に報告をし、その後看護師が医師に報告をして様子観察の指示をもらい利用様は、お変わりありませんでした。

小規模の申込の方は女性の方の割合の申込が多いです。

面会については、マスク着用、15分間、2メートル離れての面会、面会時間は14時から16時までになっています。県外者の面会については5日間何も症状がなければ面会可能になっています。

待機者については現在、2・3名いらっしゃいます。

5 事業所代表より

ヒアリハットについてはあってはいけない、薬袋の2重チェックができていなかった。

今後は気を付けるように職員に指導を行う。発生した際には、すぐに連絡し対応していく

転倒に関しては個室の部屋になっているため、部屋にはカメラが設置して事故を防ぐようにしている。部屋の床に関しては柔らかい床も設置しているが、全室対応するとコストがかかるため現実的には難しいです。

絆便りより、買い物に関しては継続して行っていきたい。消防訓練に関しては、実際の火災発生時は職員に覚悟して行なってもらい、消防団の指導のもと避難をしていきたい。

部屋の片づけに関してはプライベートもあり、本人の思いがあるため難しい。

面会に関しては、現在のコロナが発生している。夏風邪や100日咳、マイコプラズマも流行っているため、面会も気を付けています。